

## 臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	悪性脳腫瘍が疑われ入院した患者への意思決定支援に関する看護実践の実態
研究機関名	金沢医科大学病院
研究機関の長	院長：伊藤 透
研究責任者	金沢医科大学病院1号棟6階東病棟 坂井 友紀
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2023年11月
対象者	2022年4月～2022年11月までの間に、悪性脳腫瘍が疑われ、診断治療の目的で主研究者が勤務する1号棟6階東病棟に入院した患者さん
当該研究の意義・目的	<p>脳腫瘍は、発症する部位や病気の進行に伴い、意識障害や理解力・判断力の低下をきたす場合があります。治療の選択や療養上の希望など患者さんの意思を尊重した関りが困難な状況があります。そのような状況の患者さんの意思決定を支援する看護を実践するためには、現状の看護実践を明らかにする必要があると考えております。</p> <p>意義：悪性脳腫瘍患者の意思決定支援を行う看護師が、患者や患者を取り巻く家族への洞察を深め、より良い看護実践への一助となると考えます。</p> <p>目的：悪性脳腫瘍が疑われる段階から、確定診断、治療が行われる経過において、どのような場面で、どのような意思決定支援が行われたか、データ収集を行い、意思決定支援に関する看護実践の実態を明らかにすることです。</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>研究方法：事例研究</p> <p>利用する試料・情報：</p> <p>看護師は、入院時、病状説明がなされた時等、患者さんの病気の受け止めの状況や診断治療に対する患者さんの意思に関する情報収集を行い、必要に応じて検討会を実施し、意思決定支援に関する看護を通常通り実施します。看護記録、検討会記録より、意思決定支援に関する看護師の思考や判断、実践内容を取り出し研究データとします。事例ごとに時系列に整理し、研究者間で、どのような局面でどのような看護が行われたか、さらに行われた看護とその判断・思考についての意味内容を分析・検討し、意思決定支援に関する看護実践の実態について明らかにします。分析結果は、患者に関わった看護師複数名による確認を受け、妥当性を確保します。</p> <p>上記期間中に得られたデータを本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。</p> <p>この研究で得られたデータは大学の規定により研究発表後 10 年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。</p>
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。

資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があります、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 1号棟6階東病棟 看護師 坂井 友紀 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線（4630）

作成日： 2022年11月29日